



2015.12  
No.615

2015年度理事長スローガン

**JCI**  Junior Chamber  
International Toyooka  
一般社団法人豊岡青年会議所  
<http://www.toyooka-jc.or.jp>

Spirits of the JAYCEE



## 2015年度を振り返って



第55代理事長  
吉尾 甲介

大きな不安と期待を胸に、歴史と伝統ある豊岡青年会議所の理事長を拝命してから早いもので一年が経ちました。2015年度を振り返ると、これまでの人生で味わったことの無い試練と感動、達成感を私自身に与えてくれたかけがえのない年となりました。創立55周年を翌年に控え、Spirits of the JAYCEE 妥協なき「今」という言葉をスローガンに掲げ、青年会議所の創始の志に立ち返り、この素晴らしき豊岡JCに所属させていただけることの喜びと本当の意義を肌で感じていただけた年にと心に誓いました。入会から10年間の経験で得た学びや気づきを「英知」に変えて、自分自身のほんの少しの「勇氣」と本当にたくさんの方々に進むべき方向へ導いていただきながら、目一杯の「情熱」を持って、自分たちの思い描く理想へ向かい一歩ずつ歩みを進めることができました。そして、創立以来より「英知」と「勇氣」と「情熱」を結集させ創り出されてきた豊岡JC魂を、どれだけ継承することができたのかは分かりませんが、その答えはきっと2015年度全ての事業を通して、メンバーと共に味わった経験の中にあるのだと信じています。

「今」改めて思うことは、これからも、豊岡青年会議所は伝統を重んじ、先輩たちに対し敬意と感謝する気持ちを忘れずに、道筋の通った運動を展開することによりJAYCEEとはこうあるべきだという根幹の部分大切にしていって欲しいと思います。そして、私たちの運動と活動が、ふるさと豊岡にとって、自分自身にとっても意義あるものにしていくために 妥協のない「今」を過ごしていただきたい。その積み重ねこそが未来の子ども達の「今」につながっていくのだと信じています。

結びになりますが、2015年多くの皆様に助けられ、支えられながら大きく成長させていただけたことに感謝するとともに、関わっていただいた全ての方々から心からの御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

2015年度 第55代理事長 吉尾 甲介  
「今」を大切に。

# 2015年度卒業予定者 ～ありがとうJC～



池内 資倫

入会年度:2012年  
在籍年数:4年

2012年入会から4年が経ち、ついに卒業となりました。4年というと幾分短くも思いますが、その間に多くのOB諸兄、メンバーの皆様のお世話になりました。入会当初、私には先入観がない代わりに何をしている団体なのかも全く分からず、ただ唯々諾々と過ごしていたように思います。そんな中で、当時の指導力開発委員会の正副委員長、また同期入会のメンバー、委員会メンバーの皆様の温かい叱咤激励があったからこそ今日の私があると思います。

JC活動の素晴らしさは、何の関わりもない間柄が、委員会への所属や同期入会であったりという新たな繋がりに変わり、その繋がりが「現在」にまで至るという点にあると思います。その繋がりの強さは、「明るい豊かな社会」を考え、一人では成し得ないことに力を合わせて成し、それを皆で共有する活動の過程にある人間関係の濃密さから生まれると思います。そして、その活動で何を得て何を今後活かすのかによって、その価値は変わっていきます。続く2年目の国際関係員会、3年目の総務委員会の活動においても、しんどいこと楽しいことの中で、人と人との繋がりの素晴らしさを実感しました。そして最終年度に国際関係委員会の委員長をさせて頂くことができ、皆様からの多大なるご助力を頂くことで、4年間の活動を終えることができました。

思い返すと失敗や反省点の多いJC活動でしたが、たくさんの楽しい思い出と出会いを頂きました。「入会から比べて一番変わった」と言って頂くことがあります。今後においても、更にJC活動で得た繋がりを大切にし、ポジティブチェンジを続けていきたいと思えます。卒業となりますが、これからもお付き合いの程を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、4年間のJC活動で関わって頂いた全ての皆様に深い感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



秦 斎

入会年度:2002年  
在籍年数:14年

2002年に入会してから14年間、この青年会議所に在籍をさせて頂きました。この期間に本当に多くの事を学ぶ事が出来ました。そして、多くの諸先輩方はじめ現役メンバーの皆さんとの出会い(繋がりが)、私にとって何よりの宝物となりました。入会前は休みもなく、人と関わることが少なく、夢中で仕事をしておりましたので、入会してからの数年は仕事を休んで日中からJCということに慣れる事がなかなか出来ませんでした。

最初は先輩方の指示通りに動くだけで、どちらかと言うと他人事ように活動しておりましたが、副委員長、委員長を経験するにつれ、自分自身の中で責任感が芽生えてきました。自分が挙げた議案が委員会や理事会などで「何で何で攻撃」によって差し戻される

のだ！」と委員会メンバーから教わったことも昨日のことのように思い出されます。ひどく落ち込みもしましたが、時間をかけ先輩方に話を聞きに行くことでひとつひとつの骨組みを積み上げていくと、一本筋の通った揺らぐことの無いものが出来上がりました。事業計画の重要さと人へ伝えることの大切さを学び得ることができた本当に良い経験となりました。

そして、何よりリーダーとしての資質というものをこの会では多く見ることが出来ました。各事業所や地域のリーダー、もしくは今後リーダーになれる方々が多く居られ、これから会社経営を行っていく者からすれば本当に近道な会、それが青年会議所だと思います。これからはこの青年会議所での学びを活かし40代からの自分の人生をリスタートさせたいと思えます。

最後になりますが、様々な経験をさせて頂く機会を与えてくれた一般社団法人豊岡青年会議所、またJC活動を支えてくれた家族と会社、そして、これまでお世話になりました多くの先輩方、現役メンバーの皆様により感謝申し上げます。

有難うございました。



## 2015年度卒業予定者 ～ありがとうJC～



小林 博文

入会年度:2007年  
在籍年数:9年

子どもの頃、よく母親に「お父さんは？」と聞くと、「JC」。こんな問答を何百回もしていたような気がします。「JC」という言葉は子どもの頃から馴染みはあったのですが実際何をしていたとこなんだろうと思っていました。

それから数十年後、豊岡に帰ってきて仕事をしているのですが、プライベートでは、仕事仲間と同級生くらいしか知り合いがいなく仲間を増やしたいなと思入会を決意しました。一年目、指導力開発委員会で同期9名と、何もわからない中、例会や事業に参加して、また委員会の後の懇親会で夜遅くまで語り合ったのが懐かしく思います。そして、毎年、様々な委員会、役職を経験させて頂き、自分の成長に繋がる体験をさせてもらったことに感謝します。特に委員長と副理事長のときには苦しいことやしんどいことが多々あり、心が折れそうなこともありましたが、それを乗り越えた時の感動と達成感は、格別なものであり、忘れられない体験でした(まさか号泣することがあるとは・・・)。そして昨年、近畿地区協議会に出向させて頂き、GTSの副委員長を務めたのですが、豊岡JCで学んだ経験を活かされたときには、少しは成長しているのかなと実感することが出来ました。

ふと名刺を整理したら1,000枚近くあることに気づきました。JC生活で本当に多くの方に関わらせて頂き、いろんな考え方や、手法などを直接聞くことが出来ました。JC生活で一生涯繋がっていきける多くの仲間を作ることが出来たことが、私にとっての財産です。JCで学んだことをこれからは、仕事や家庭に活かしていければと思います。卒業しても現役の皆様、飲み会に誘ってくださいね。

9年間、お世話になりました。ありがとうございました。



手塚 将之

入会年度:2012年  
在籍年数:4年

気が付けば卒業・・・あっという間のJC生活が終わりを迎えようとしています。入会当初は違和感さえ覚え、適当にこなして卒業だけ出来ればいいと思っていた青年会議所活動。しかし、その活動が自身の支えとなり、指標となっていることを実感する今、私にとって念願であったはずの卒業は嬉しい反面、非常に寂しい。そんな複雑な心境で一杯です。4年間という短い在籍期間ではありましたが、それ程までに私にとって濃密な期間であり、貴重な経験をさせて頂きました。

9名の同期と共に入会し、何も分からずに委員長の言われることだけをこなしていた1年目から最終年度に理想の未来創造委員長という役職を拝命し、今に至るまでには挫折と後悔といった大きな障害の連続でした。確かに遣り切ったという思いはありますが4年間という短い期間で全てが分かった訳ではありませんし、自信を持って出来たというには程遠いものであったと思います。しかし、共に活動する中で何事も全うするという気持ち、誰が為にという道徳心、実直な取り組み、妥協しないという強い信念など多くのメンバーの行動とその本質に触れるにつれて、私自身の気持ちと価値観も変化し、理念や信念が生まれてきました。切磋琢磨する中で己を知り、挫折する度に支えられ、多くの出会いと関わり合いの中から気づきや学びを得る。JCは大きな成長の機会を与えてくれた場所であり、何よりも信頼できる仲間や繋がりができた場所でありました。本当にかげがえのない多くの宝を得ることが出来ました。

今後は、JC活動で学び得た経験を活かし、JAYCEEとしての誇りを胸に会社や地域に活かしていきたいと思います。卒業をさせて頂くにあたり、多くのお世話になった皆様と豊岡青年会議所に心からの感謝御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



# 2015年度卒業予定者 ～ありがとうJC～



井藤 伸二

入会年度:2005年

在籍年数:11年

ついにこの時が来たか・・・！

これが今の素直な感想である。縁あって10名の同期の一員として入会したのが2005年。一体、JCとはどんなところで、どういった事をするのだろうと、未知のものへの期待と不安が混在し、まさに五里霧中でも同期で励まし合いながら駆け抜けた初年度であったような気がする。

この年、時の指導力開発委員長から多くのことを学んだ。後にも先にも彼のような男は居ないであろうと思えるくらいの圧倒的存在感を放つ方である。彼の口から出た言葉は後の我々、新会員に多くの影響を与えた。

その中でも“JCとは義理・人情である”という言葉は未だに私の胸をつかんで放さない。真に意味を理解するのに多少時間を要したが、この言葉ほど私自身が影響受け実践しようと心に決めたものはない。

何年後かに自分が指導力開発委員長になった。この時、常に意識したことは、“この言葉に忠実に”。ただそれだけであった。そして、いつしかこの言葉は自分の人生の信念へと変わった。

そう、JCとは、確かに自分の人生のあまりに大きな一部分なのだと感じる。今まで通った、どんな学校や塾よりも長く、如何なる学友にも劣らぬ友情を交わし、喜怒哀楽すべてがほとぼりした場所、我が人生最後の学び舎、豊岡JC。

これまで、私に関わった頂いた全ての方々へ衷心より感謝申し上げます。

長い間ありがとうございました。

これから本当のJCが始まる！



11月13日(金)18:30～21:23

総務委員会

## 11月第1例会・臨時総会

於：じばさんTAJIMA5F豊岡靴協会ホール

11月13日(金)、11月第1例会・臨時総会がじばさんTAJIMA5F靴協会ホールにて開催されました。第1例会では、理事・役員・出向メンバー等による会務報告を通じて1年間の活動の報告が行われました。それぞれ役職は違いますが、メンバーの大きな成長を感じられる機会となり、一体感のある例会を開催することが出来ました。

例会終了後は臨時総会が開催され、議長に理想の未来創造委員会の小林博文君が選出されました。2016年度の事業計画案・予算案に関する議案が採択され、議長の進行により活発な議論が交わされました。全議案とも全会一致にて可決・承認され、数多くの大きな事業を控える2016年度を目前にして緊張感のある臨時総会となりました。

(総務委員会副委員長 小中 弘幸)



11月27日(金)19:30～21:00

総務委員会

## 11月第2例会

於：豊岡劇場小ホール

リニューアルした豊岡劇場の小ホールをお借りし、11月第2例会観照会「未来をなぞる 写真家・畠山直哉」を開催させて頂きました。東日本大震災を機に写真家とは何か自問自答して葛藤する畠山直哉氏の作家としての姿に迫るドキュメンタリー映画を見て頂き、自分自身を見つめ直す機会をつくりました。本年度の終りが見え、次年度が本格的動き出したこの時期に、自身の内面を掘り下げる有意義な機会をつくる事ができました。

(総務委員会委員長 細川 太郎)



11月14日(土)~16日(月)

# 全州青年会議所公式訪問団受け入れ

於：ブルーリッジホテル 他



国際関係委員長  
池内 資倫

大韓国内でのMERS流行のために延期となっていました。11月14日(土)から16日(月)の日程で、裴喜元会長をはじめとする現役会員6名の全州青年会議所公式訪問団が来豊されました。歓迎レセプションでは、川見先輩をはじめ8名の特別会員の方にもご参加を頂き、全州青年会議所公式訪問団を盛大に歓迎することができました。2日目の公式会議では、来年に迎える姉妹締結50周年についての方向性を協議し、調印式を行いました。その後の交流事業では、コウノトリの郷公園を見学し、コウノトリの野生復帰の歴史を学ぶことで、環境問題に取り組む豊岡市について理解を深めて頂きました。そして、トヨタカカバンアルチザンアベニューでレーザークラフト体験とカバンストリートの見学を行い、豊岡の誇る「ものづくり」を通じて相互理解と友情を深める交流を行いました。3日目には市長表敬訪問を行い、豊岡市長と全州JCMメンバーの質疑応答の後、裴会長により全州市長からの親書を豊岡市長にお渡し頂くことで、豊岡と全州の両地域の繋がりを深める有意義な機会となりました。その際には報道機関4社から取材を頂き、翌日の新聞に掲載して頂いたことで我々の交流を地域へ広く発信することができました。

本年度の交流では、11月の公式訪問団受け入れということも合わせて、永きに亘る両JCMの絆を実感すると共に、お互いの地域への理解と友情を更に深めることができました。また、来年の姉妹締結50周年に向けて想いを繋げる交流となりました。

最後になりましたが、ご協力を賜りましたOB諸兄、LOMメンバーの皆様のお陰をもちまして、有意義な交流ができ、全日程を終えられましたことに心より感謝を申し上げます。



## 歓迎レセプション



## 公式会議



## 交流事業



## 市長表敬訪問

11月25日(水)

# 第1回じゃがいもクラブコンペ

於：久美浜カンツリークラブ

過日、久美浜カンツリークラブにて2016年度第1回じゃがいもクラブコンペを開催いたしました。OB 10名、現役20名、計30名の参加を得て、和気あいあいのうちに終える事が出来ました。

尚、優勝の栄光は佐伯卓哉OBが獲得されました。

- 優勝 佐伯卓哉 OB (G86, H22, N64)
- 準優勝 小西晴久 君 (G99, H32, N67)
- 第3位 岡田敏男 OB (G82, H13, N69)

(じゃがいもクラブ支配人 小林 千晶)



12月7日(月)

# 但馬4 J C 理事長会議

於：西村屋ホテル招月庭 白楊

12月7日(月)、西村屋招月庭において2015年度但馬4 J C 理事長会議が開催されました。理事長会議では事業報告と決算報告が承認され、その後の懇親会では和気藹々な雰囲気の中、但馬4 J C の絆を再確認し、今後も互いに協力し合うことを誓い合いました。二次会の次年度タイムでは、「但4」というニューワードも飛び出し、次年度に向けて各LOMの所信を情報共有出来た有意義な機会となりました。

(専務理事 三輪 直亮)



## ■ 事業案内 ■

### ■ 新春賀詞交歓会

日時 2016年1月1日(金) 10:50~12:00  
 場所 小田井縣神社・小田井会館  
 ホスト 総務委員会

### ■ 1月第1例会・通常総会

日時 2016年1月8日(金) 18:30~  
 場所 じばさんTAJIMA5F 豊岡靱協会ホール  
 ホスト 総務委員会

### ■ OB会新年総会~

日時 2016年1月26日(火) 19:00~21:00  
 場所 アール・ベル・アンジェ

## ■ 編集後記 ■

早いもので、前年度より受け継ぎました、歴史と伝統ある広報誌「絆」の発行も今回で最後となりました。まずは、無事12回の広報誌「絆」を発行出来ましたことを嬉しく思います。本年度は、2015年度理事長スローガン Spirits of the JAYCEE 妥協なき「今」のもと、臆することなく理想に向かうメンバーの姿が伝わるよう発信してまいりました。そしてこの広報誌「絆」を通して、我々がどんな活動をしているのか、どんな想いで事業を行ってきたのかなど、我々の想いが誌面を通して多くの皆様に伝わっていましたら幸いです。最後になりますが、原稿依頼等ご協力頂きましたメンバーの皆様、並びに関係各位に心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。(総務委員会)

発行日：平成 27 年 12 月 11 日  
 住 所：豊岡市幸町 6 番 35 号  
 TEL：0796-22-4041

発行 所：一般社団法人豊岡青年会議所  
 編集発行人：総 務 委 員 会  
 印 刷：総 務 委 員 会